

## アプリケーションカタログ 塩化パラフィンの塩素分析

関連業界	:	石油化学
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/沈殿滴定

### 1. 概要

塩化パラフィンの低濃度塩素の定量は、試料に2-プロパノールと0.01mol/L 塩化ナトリウム溶液10.0mLを加えた後、電位差滴定法により0.1mol/L 硝酸銀溶液で当量点まで滴定します。当量点は、滴定曲線上の最大変曲点です。

測定を開始する前に、0.01mol/L 塩化ナトリウム溶液 10.0mL に対する0.1mol/L 硝酸銀溶液の滴定量を求めておき、試料測定時に差引くことで試料中の塩素濃度を算出します。

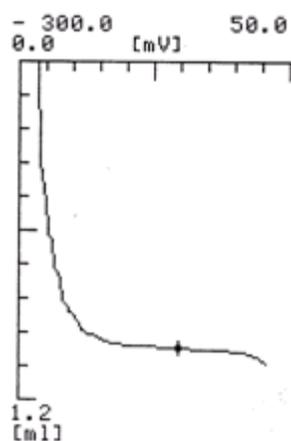
### 2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置 (プリアンプリファイア: STD)
電極	:	銀電極 硫酸水銀スリーブ型比較電極

### 3. 試薬

滴定液	:	0.1mol/L 硝酸銀溶液 (f=1.004)
滴定溶媒	:	2-プロパノール
添加試薬	:	0.01mol/L 塩化ナトリウム溶液

### 4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	Sample (g)	Titer (mL)	Conc. (%)
1	2.0087	1.0213	0.00121

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>